

| 3月定例会 | |
|----------|----|
| 3月定例会 | 2 |
| 請願・議会決議 | 4 |
| 1・2月臨時会 | 5 |
| 総括質疑 | 6 |
| 分科会委員長報告 | 8 |
| 報告・議会改革 | 10 |
| 広域事務組合議会 | 12 |
| 行政調査レポート | 13 |
| 大好き尾花沢 | 14 |
| 一般質問 | 15 |
| 私のひとこと | 24 |



静と動!!

私のひとこと

① **オリンピックの感想は。**
今回初めてオリンピックに出場させてもらいました。会場に入ってからなかなか実感が湧かなかったのですが、日々送られてくるみなさんからの応援メッセージで少しずつ緊張が高まってきました。競技場は標高1800mにあり、寒さが大変厳しくなかなか身体が回らず、納得のいく走りができませんでした。しかしながら、スプリント競技では射撃において満射(全的命中)できたのは僕自身嬉しい結果でした。目標とする順位には力及ばずとても悔しい思いをいたしました。
北京オリンピック出場にあたり沢山のご声援本当にありがとうございました。皆様方からの温かい応援が本当に力になりました。

北京2022冬季オリンピック
バイアスロン出場
尾崎 光輔 選手
(鶴巻田出身)
インタビュー



大舞台！ 応援に感謝

たしとても心強く感じました。力不足により結果で恩返しする事はできませんでしたが、この大舞台でみなさんの応援を胸に走り抜けた事に感謝の気持ちでいっぱいです。
② **欧州勢の強さはなぜ。**
日本では銃刀法など規制が厳しいため、ライフルを扱うには免許が必要です。ヨーロッパでは小学校ぐらいからバイアスロンを始められることができます。さらには、実弾に近い弾も撃つことができるので、射撃を始める時期が早い分土台がしっかりしています。冬はもちろんですが、日本ではローラースキーを使った国道でのトレーニングに制約を受けますが、ヨーロッパでは競技になっていくこともあり、夏場のトレーニング環境がとても良く、それが冬のスキートの強さにつながっていると思います。

③ **尾花沢の好きな所は。**
自然豊かで、尾花沢ならではの自然の遊びができること
④ **後輩へ伝えたいことは。**
みなさん1人1人が色々な目標に向かって日々頑張っていると思います。結果ばかりに目を向けるのではなく、毎日の積み重ね、過程を大事に自分に正直に楽しく、時に厳しく目標に向かって行ってほしいと思います。沢山挑戦して後悔しない人生を送って欲しいと思います。
⑤ **今後の抱負は。**
今シーズンををもってバイアスロン競技を引退します。夏に神町自衛隊に異動する予定であり、一般隊員としてわが国の防衛などの本来任務に移行します。自衛隊の仕事(任務遂行)が主になりますが、スキーを辞める訳ではないので、自分も成長しつつまだまだ未熟ではありますが、少しでも培った知識や技能を後輩に伝えられたらと思います。

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

議会事務局人事

- ◎退職
事務局長補佐 五十嵐 弘至
庶務・議事係 清藤 ちえみ
- ◎転入
事務局長補佐(教育指導室室長補佐から) 庄司 裕樹
庶務・議事係(市民税務課収納係から) 鈴木 浩

ありがき

編集委員になり間もなく3年になります。委員が取材や撮影まで心を入れて作成しています。市民からの議会への要望や意見などの情報提供をいただき、活用させていただいています。タブレットを活用し、さらに充実していきます。
(安井 一義)

- 発行責任者 議長 青野 隆一
- 市議会だより編集委員
委員長 鈴木 清
副委員長 和田 哲
委員 塩原未知子
委員 星川 薫
委員 菅野 喜昭
委員 安井 一義
委員 鈴木由美子

総額
169億
4,684万円

令和4年度

3月
定例会
2022

「このまちでともに生きる」予算を可決

| |
|-------------|
| 一般会計 |
| 121億2,500万円 |

| |
|------------|
| 特別会計 |
| 48億2,184万円 |

| 区分 | 金額 |
|--------------|------------|
| 国民健康保険 | 19億962万円 |
| 中央診療所 | 3億9,784万円 |
| 簡易水道 | 2億5,092万円 |
| 国営村山北部土地改良事業 | 55万円 |
| 農業集落排水事業 | 9,144万円 |
| 介護保険 | 19億5,800万円 |
| 後期高齢者医療保険 | 2億1,347万円 |

令和3年度補正予算

| |
|--------------|
| 一般会計 |
| 5億1,686万円 追加 |

| |
|---------------|
| 特別会計 |
| 10億7,636万円 追加 |

「協働・行財政」 笑顔の花咲く交流と協働のまち

- 地域おこし協力隊事業 1,895万円
- ワーク・ライフ・バランス実践企業支援事業 50万円



地域おこし協力隊
中里裕美さん
(グースカフェ担当)



地域おこし協力隊
会田朋史さん
(尾花沢そば振興担当)

「都市基盤・住環境」 暮らしやすく住み続けられるまち

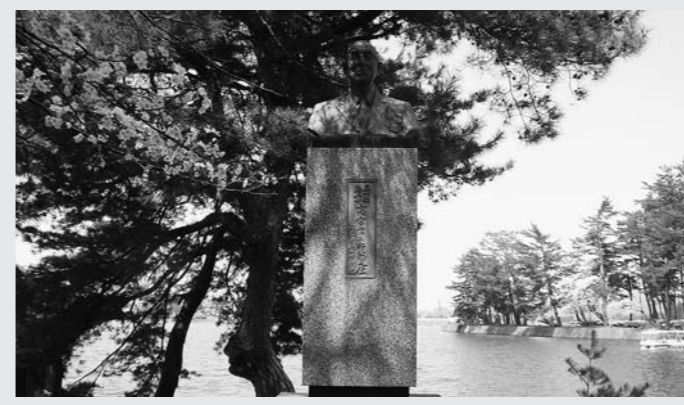
- 全国瞬時警報システム自動起動装置等整備事業 1,871万円
- 尾花沢IC周辺施設整備概況調査事業 50万円
- まちなか空き家再生事業 402万円
- 給水車購入事業負担金 1,420万円

「子育て教育」 ふるさと愛を育むまち

- 産後ケア事業 26万円
- デジタル人材育成支援事業 40万円
- 校務用パソコン等整備事業 1,091万円
- ふるさと偉人マンガ製作活用事業 300万円



親子のふれあい



築堤の若きリーダーとなつた高宮常太郎氏

「健康・医療・福祉」 健康長寿と絆のまち

- 公共交通再編事業 1,224万円
- 医療機器更新事業 809万円

「産業振興」 キラリと光る産業のまち

- 堆肥センターリニューアル事業 1,518万円
- 中小企業者等戦略的人材育成支援事業 200万円

会期を3月2日から18日までの17日間と決めた後、令和4年度各会計予算及び令和3年度各会計補正予算、条例の一部改正など27議案が上程され、原案通り可決。また請願1件を採択、1件は不採択、議会議決議案1件を可決した。

定例会のあらまし

1月臨時会

令和4年1月27日

臨時会を開き、断水からの復旧に関する令和3年度一般会計補正予算など専決処分2件を承認。令和3年度一般会計補正予算と除雪ドーザ購入の2議案を可決した。

問 除排雪業務委託料は7億1千800万円になるが執行状況と今後の見通しは。(伊藤 浩)

除排雪について

答 3月定例会にて補正予算に計上し予備のポンプを準備する。

問 ポンプの備えなどの対策が必要ではないか。

答 3月定例会にて補正予算に計上し予備のポンプを準備する。

問 原田送水場ポンプの故障対応

答 原田送水場のポンプは2007年製で設置後15年目で更新予定の物。同様に他施設においても今後計画的に更新を進める。

問 原田送水場ポンプの故障で1月2日から6日まで断水となったが、単独ポンプであるため故障すれば断水するのは当然である。今後の対策についてどのように考えているのか。(星川 薫)

答 1月18日現在概算で75%の執行となっている。今後も降雪が見込まれるため除排雪が必要。



常盤地区での給水作業

問 米価下落に対する緊急応援

答 尾花産米生産支援緊急応援事業の申請方法について、第一弾で申請された方へ振り込む方法での対応はできないか。(菅野修二)

答 第一弾と同様の支援対象者となるが様式を直接郵送する。

2月臨時会

令和4年2月18日

除排雪業務委託料 2億円追加を決定 (総額9億1,800万円)



請願

令和4年請願第1号

◎花笠高原スキー場に関する請願

《趣旨》
地域に根ざしたスポーツ環境づくりと住民の健康と明るく活力に満ちたまちづくりのために、尾花沢ならではの雪のスポーツの代名詞である花笠高原スキー場の簡易リフトの再設置をお願いしたい。

●紹介議員

星川 薫
菅野 喜昭

●請願者

尾花沢スキー連盟会長 生田 健一
尾花沢市スポーツ少年団本部長 安野 重幸

(反対討論)

以下の点で継続的な審査が望ましいと考えるため反対します。

- ①11月に簡易リフトについては当局との来シーズンに向けての調整協議がある。
- ②設置機材の生産が終了の情報もあり、設置場所・機材の審議が未了である。

採決 賛成多数で採択

令和3年請願第6号

◎沖縄戦戦没者の遺骨混入土砂を埋立てに使用する計画の中止と、政府が主体となって戦没者遺骨収集を実施することを求める意見書の提出に関する請願

●紹介議員 鈴木 清

●請願者 平和友好祭北村山地区実行委員会 実行委員長 菅野 真治
尾花沢九条の会代表 鈴木ミツ工

(賛成討論)

次の4点により請願に賛成。各位のご賛同をお願いしたい。

- ①基地問題は防衛省、遺骨収集問題は厚労省との区別が必要。
- ②埋め立ての土砂に遺骨が混入している可能性大。
- ③本市16名の沖縄戦戦没者の遺族の聴取は継続して調査すべき課題。
- ④遺骨混入土砂を埋立てに使用する事は戦死者を二度殺すようなものであり、人道に反する行為である。

採決 賛成少数で不採択

○：賛成 ×：反対 /：議長 欠：欠席

| 請願に関する賛否状況 | 菅野 修一 | 星川 薫 | 安井 一義 | 大類 好彦 | 小関 英子 | 塩原未知子 | 伊藤 浩 | 鈴木 裕雅 | 鈴木 清 | 和田 哲 | 菅野 喜昭 | 奥山 格 | 鈴木由美子 | 青野 隆一 |
|------------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|-------|------|-------|-------|
| 令和4年請願第1号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 令和3年請願第6号 | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | ○ | × | × |

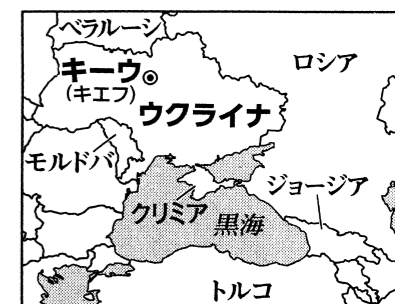
議会決議



↑全文詳細はこちら

「ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議」全会一致で可決！

ウクライナへの侵略で子どもや女性をはじめとする罪なき多くの民間人をまきこみ平和な地上を一変させています。また国際社会の秩序も揺るがしかねない状況が続いています。戦争で得るものは破壊しかないのではないのでしょうか。国際社会の平和が保たれてこそ私たちがいるのです。



総括 質疑

令和4年度 予算特別委員会 市民にとって希望 となる予算か

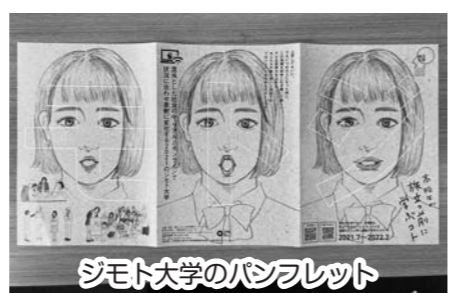
3月8日に、全議員で構成する予算特別委員会が設置され、令和4年度予算(案)を慎重に審査しました。
その過程で、翌日の3月9日～10日の2日間にわたり、本議場において約360分間の活発な総括質疑が行なわれました。



集落公民館エアコン設置補助



通信運搬費(郵便物)



シモト大学のパンフレット



公共交通再編



無形文化財の尾花沢雅楽



昭和60年に建てられた基幹集落センターの多目的室

学園構想 推進事業

(菅野修二)

Q 令和4年度、統合小学校建設場所はどこで決定するのか。また、中学校も将来併設し、小中連携型を目指すとしているが、建設場所は何ha確保するのか。

A 統合小中学校建設検討委員会を設置して、基本構想と基本計画を策定し、学園構想等資料を活用して検討していく。面積は7〜8ha想定している。

基幹集落センター 屋内遊戯場について

(星川 薫)

Q 測量設計費400万円とのことであるが、老朽化した施設の修繕費や整備に係る金額をどの程度見込んでいるか。

A 天童市の「げんきッズ」の遊具費は9千万円弱であるが、多

校務用パソコン等 整備事業

(安井一義)

Q 校務用パソコンは何台になるのか。今回導入するシステムでどれだけの軽減がはかれるのか。

A 現在すでに導入されているものが入れ替えになり、台数は130台。統合型校務支援ソフト導入により手書き軽減やデータの複数回入力が無くなる。また、小学校から中学校へのデータ受け渡しの簡素化がはかれる。

無形文化財 保存活用事業

(大類好彦)

Q 雅楽保存会と祭囃

ふるさと納税

(塩原未知子)

Q すいかは他市町村の産地偽造が目立ち、商品の販売合戦になっているので、もっと生産者や歴史・文化・地域活動を支援してはどうか。

A クレーム対応をしっかりと行い、新たな商品と地域の魅力を発信する内容にしていく。

地籍調査事業

(伊藤 浩)

Q 地籍調査の未実施地区があり、地籍台帳

集落公民館エアコン設置補助

(和田 哲)

Q 集落公民館へのエアコン設置に対する補助金が、新規事業として追加されるにあたり、既存の制度へどのように組み込まれてくるのか。

A 既存の新築や改修などは別枠で考えている。制度としては、新築は上限600万円、改修などで上限200万円となっている。エアコン設置については、補助率7割の上限20万円としたい。

新エネルギー設備 導入補助金

(菅野喜昭)

Q 当市は、令和3年5月にゼロカーボンシティを宣言したわけだが、設備導入の助成について、令和4年度から蓄電池を対象に追加

まちなか空き家 再生事業

(鈴木裕雅)

Q 居住誘導区域内の三角地などの不慣れた土地や建物も寄付を受け付けるのか。

A 安価な宅地分譲販売していくために事前調査の必要がある。慎重な判断が必要。

Q 鉄骨・鉄筋の建物も寄付として受けるのか。

A 利用できるので、継続してほしいという声があるが、どうか。

通信運搬費

(鈴木田美子)

Q 例年1千600万円程の予算が送料に掛けられている。郵便物の出し方などを工夫して、経費削減する考えについて伺う。

A 市内特別郵便、同一住所への文書をまとめるなど、配慮していく。また、各課に郵便料金や取扱商品の一覧表を作成し、経費削減に努める。

Q 高齢者おもいやりタクシー券は、往復する金額を考えると何回も使用できない。路線バスはいつでも何回で

◎議長 青野隆一
◎予算特別委員長 小関英子
2名は役職上、質疑はできません。

第2分科会



委員長 和田 哲



副委員長 菅野 修一



尾花沢市ホームページまたは左記のQRコードより、会議録全文と動画全編をご覧くださいいただけます。

「尾花沢公式ホームページ」→「市議会」

福祉・農業
産業・道路
保健・医療など

農業振興費
親元就農支援事業奨励金について、勉強会や情報交換会を開催するなど、この事業を軸

労働諸費
じもと就職応援スタートアップ奨励金について、今後とも新規学卒者の地元就職に結び付く取り組みを強化されるよう要望。

保健衛生総務費
産後ケア事業委託料は、産後十分な支援が受けられない母子に対し、宿泊や訪問による心身ケアや育児支援を行うことを了承。

雪対策・新エネルギー推進費
再生可能エネルギー設備導入事業補助金は、新年度より、補助対象や補助額などの内容が拡充されていることを了承。

中央診療所施設勘定
画像管理システムの更新については、費用対効果を十分な精査。また、新型コロナウイルス感染症への対応が新たに必要となつていくことから、市民が安心して受診できるように体制の強化について要望した。

土木費
道の駅尾花沢PR事業費補助金について、東北中央自動車道の全線開通を見据えた市内観光情報発信の充実を図るよう要望。

商工観光費
「花笠の湯」「御所の湯」の施設老朽化やボイラー修繕などの更新時期には、再生可能エネルギーを取り入れていくよう要望。



第2分科会日程 場所：防災研修室

| 一般会計 | | 特別会計 | |
|----------|------------------|---------------------------------|--|
| 3月10日(木) | 農林課・農業委員会 | 国民健康保険事業・農業集落排水事業 | |
| 3月11日(金) | 福祉課・建設課・環境エネルギー課 | 国営村山北部土地改良事業・介護保険事業・後期高齢者医療保険事業 | |
| 3月14日(月) | 健康増進課・商工観光課 | 中央診療所施設勘定 | |

第1分科会



委員長 大類 好彦



副委員長 奥山 格

税金・財政
くらし・教育
災害・消防など

予算特別委員会のもと、3月10日に2つの分科会が設置されました。ここでは、令和4年度予算(案)についてより詳しい審査が行われ、委員からは活発な質疑や意見が出されました。

その内容は詳細かつ膨大なため、その過程における質疑や意見、これらに対する当局の答弁を踏まえ、特筆すべきものについて分科会委員長より報告がありました。その一部をお伝えします。

路線バス運行費
今後のバス購入については、ゼロカーボンを意識し、将来的な環境に配慮した車両を検討されるよう要望。

防災対策費
避難所における非常食や毛布を購入し、乳児用のミルクや哺乳瓶などと併せ、必要に応じて提供できるよう整備をしていくことを了承。

単位(円)

| 役職 | 年額報酬 | | 出動手当(4時間あたり) | |
|-----|--------|---------|--------------|-------|
| | 改正前 | 改正後 | 改正前 | 改正後 |
| 団 長 | 93,000 | 120,000 | 1,500 | 4,000 |
| 部 長 | 23,000 | 37,500 | | |
| 班 長 | 20,000 | 37,000 | | |
| 団 員 | 17,000 | 36,500 | | |

一般管理費
公式ホームページ更新に向けて検討委員会を立ち上げ、画面構成や階層構成など協議を重ね、使いやすいものにしていくことを了承。

広報費
市報3月15日号で取り組んだ、大石田町との連携事業としてグルメ店舗を紹介する企画は、今後も継続されるよう要望。

非常備消防費
消防団員の年額報酬および出動手当の見直しについて了承し、さらなる団員の確保に向けて、若者が関心を持てるような防災教育を要望。



芭蕉、清風歴史資料館
特別展・企画展の開催について、詳細説明を了承。さらに、様々な角度から鈴木清風に光を当てた企画の検討を要望。

体育振興費
少子化に伴い単体での活動が困難となっているスポーツ少年団について、一本化に向けた再編への支援体制を検討していくよう要望。

第1分科会日程 場所：大会議室

| 一般会計 | |
|----------|--------------------------------------|
| 3月10日(木) | 消防本部・会計課・定住応援課・財政課 |
| 3月11日(金) | 議会事務局・総合政策課・市民税務課・こども教育課・総務課・防災危機管理室 |
| 3月14日(月) | 監査事務局・社会教育課 |

タブレット端末の導入は議会基本条例の趣旨や災害時の活用なども含め、コロナ禍における積極的な議員活動にも貢献できるものであり、必要なものと言えます。

スマート自治体を掲げる尾花沢市に合わせ、議会は市政の両輪として効率的な議会運営・行政運営を目指し、市民の負託に応えていくため、議会も積極的にDX(デジタル化)を進めていきます。

現在進められている3つの部会

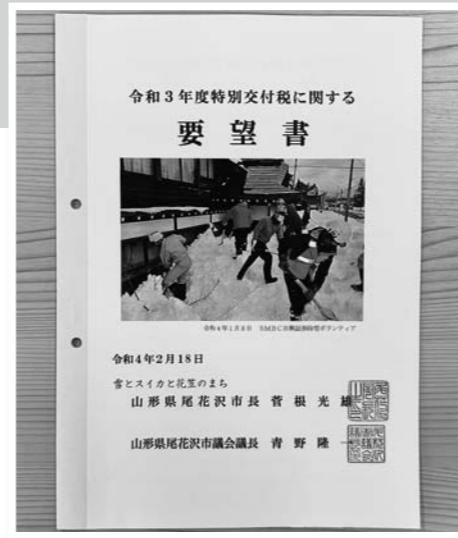
基本条例制定部会
令和4年度中に策定、議会報告会を開催予定です。

タブレット部会
新年度から、議員全員と執行部に貸与された機器で12月定例会議場での活用を目標にDXを進めています。

議会だより常任委員会検討部会
デジタル化を進めるとともにできるだけ作業コスト削減のための進め方を検討。内容充実をめざし、常任委員会にすべきかどうかを検討中です。



費用削減・ペーパーレス化
働き方改革・業務の簡素化
コロナ禍でも議論を止めない
リモートワーク
密集しない作業環境の整備
積極的な広聴・広報
智の集積と活用



オンラインによる 県選出国會議員に対するリモート要望活動の様子

提言書 14名全議員一致した意見
市長に提言!!

**パレットスクエアの利用に
関する提言について**

令和4年3月18日、3月定例会終了後、議長、副議長、令和クラブ、市政クラブ、会派に属さない議員の代表が市長室において市長に提言書を提出しました。

敷地を市で購入し、民間資本の活用なども含め、市民に望まれる利用計画を早急に示すこと。



| 議会 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 |
|----|--|---|--|--|--|
| 議会 | 5日 市民新春祝賀会並びに市民賞授与式 5~7日 議会だより編集委員会 7日 全員協議会・議会運営委員会 12日 第14回議会改革推進委員会 条例制定作業部会 第12回議会改革推進委員会 タブレット部会 21日 議会運営委員会 | 1日 議会だより編集委員会検討部会 2日 議会運営委員会オンライン行政調査・議運 7日 第13回議会改革推進委員会 タブレット部会 10日 全員協議会・第17回議会改革推進委員会 14日 公職選挙法に関する勉強会 第3回新型コロナウイルス対策会議 15日 総務文教常任委員会・議会運営委員会 16日 尾花沢市都市計画審議会 18日 臨時会・議会運営委員会・全員協議会 | 2~18日 3月定例会・予算特別委員会 4日 要望活動(市政クラブ・会派に属さない議員) 9日 第14回議会改革推進委員会 タブレット部会 16日 要望活動(令和クラブ・会派に属さない議員) 22日 北村山公立病院組合議会 24日 環境衛生事業組合議会 25日 北村山広域行政事務組合議会 28日 議会だより編集委員会 28・29日 タブレット操作講習会・タブレット端末貸与 28日 タブレット端末等の管理及び使用に関する規程制定 | 11日 全員協議会・議会だより編集委員会 12日 産業厚生常任委員会 18日 総務文教常任委員会 20日 議会だより編集委員会 21日 タブレット部会 24日 春季消防大演習 25日 議会運営委員会・議会だより編集委員会 27日 臨時会・総務文教常任委員会 28日 議会だより編集委員会 議会だより編集委員会 議会だより編集委員会・タブレット操作研修会 | 3日 徳良湖まつり 花笠踊り参加 10日 全員協議会 11日 産業厚生常任委員会 |

議
会
日
誌
(抜粋)

議会運営委員会

オンラインにて議会改革を学ぶ

全国町村議会議長会より町村議会特別表彰を受賞された宮城県柴田町議会とオンラインでの行政調査を実施しました。

【令和4年2月2日】

柴田町議会の取り組み

◆政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

- ①議会基本条例に基づく議会活動の検証
- ②ワールドカフェを活用した自由討議
- ③常任委員会の調査活動
- ④予算決算審査を軸にした議会政策サイクル
- ⑤議会図書室の充実
- ⑥ICT化の推進(タブレット端末の導入)

◆住民に開かれた議会

- ①議会懇談会(議会報告会)
- ②公開議員研修会
- ③高校生との懇談会
- ④議会広報の取り組み
- ⑤一般に広く普及しているツールを活用した情報発信

以上についてご教示いただくとともに闊達な意見交換を行いました。本市議会も機能している議会を参考に議会改革を推進して参ります。

◆地域活性化のため特別な取り組みをした議会

- ①災害時等の議会の取り組み

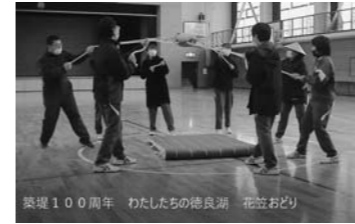


広域組合議会の報告

尾中作品が受賞!
(北村山広域行政事務組合議会)

3月25日、村山市議会議場にて定例会を開催し、令和3年度一般会計補正予算9千736万円と、令和4年度一般会計予算9千500万円を原案通り可決した。
令和4年度の3市1町の負担金は下表の通りです(本市負担率18.7%)。

| 市町別 | 負担金 |
|------|-----------|
| 尾花沢市 | 1,629万9千円 |
| 村山市 | 2,669万3千円 |
| 東根市 | 3,399万7千円 |
| 大石田町 | 989万4千円 |
| 合計 | 8,688万3千円 |



第70回山形県自作視聴覚教材コンクール児童生徒作品部門では、尾花沢中学校芸術部作「築堤100周年 私たちの徳良湖 花笠踊り」が優秀賞、「いきいきさわやか 学校生活 服装 髪型のきまりについて考えよう」が、入選を受賞した。

新病院建設計画
(北村山公立病院組合議会)

北村山公立病院組合議会第1回定例会が令和4年3月22日東根市議場で開かれ、令和4年度組合事業会計予算など9議案が上程され、いずれも原案通り可決して閉会した。令和4年度組合事業会計予算は、年間の入院患者数を7万8千475人、外来患者数9万9千630人と予定し、病院事業収益を52億615万円、病院事業費用を57億3千409万円とした。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例改正、特殊勤務手当支給条例改正などを可決し、また病院事務長の任期満了に伴い高橋重俊氏(東根市)を任命することに同意した。

新病院建設基礎調査報告書が提示され、県・地域医療との連携、場所、基本構想などの質問が出された。

新病院整備については、基本構想・基本計画・基本設計・実施設計・施工・開院準備をへて、令和12年降雪前に開院予定と示された。

| 市町別 | 負担金 |
|------|-------------|
| 尾花沢市 | 1億1,378万8千円 |
| 村山市 | 2億3,566万2千円 |
| 東根市 | 4億2,564万3千円 |
| 大石田町 | 5,129万6千円 |
| 合計 | 8億2,638万9千円 |

災害対応に新給水車購入
(尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会)

3月24日、3月定例会が同組合議場にて開催され、令和3年度一般会計補正予算ほか、補正予算2案件及び令和3年度同組合水道事業会計資本剰余金の処分について、並びに令和4年度同組合一般会計予算ほか水道事業会計、公共下水道事業会計、尾花沢市特定環境保全公共下水道事業会計、大石田町特定環境保全公共下水道事業会計の予算議案4案件と組合行政組織に関する条例の一部を改正する案件さらに同事業組合監査委員の選任に関する人事案件の計12議案を原案通り可決した。一般会計では、ごみ処理施設更新計画支援業務委託料として新たに3千580万円、ごみを焼却するガス化溶融炉施設等の維持補修工事請負費1億5千480万円や、その施設設置地区へ対する環境整備事業補助金700万円等に加え、歳入歳出総額7億8千820万円(前年対比12.5%増)を計上した。

水道事業会計予算においては、頻発する災害に対応するため、新しい圧送式の給水車購入費2千360万円が盛り込まれた。

この度、令和4年3月31日付けをもって任期満了となる同事業組合監査委員の後任者を選任する人事案件については、門脇誠一氏を再任し、閉会した。



有事に備え購入する圧送式給水車

所管事務調査

産業厚生常任委員会

【令和3年11月17日実施】

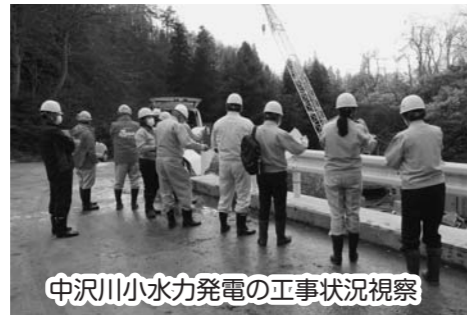
◆調査事項

- 【中央診療所】中央診療所のあり方検討事業について
- 【建設課】都市計画マスタープラン等について
- 【農林課】米価下落等への対応について
- 【環境エネルギー課】環境基本計画改訂、中沢川小水力発電の進捗状況について(現地調査含む)

【令和3年12月9日実施】

◆調査事項

- 【農林課】
 - 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業について(現地調査含む)
 - 儲かる農業支援事業、地域ぐるみによる鳥獣被害防止対策推進事業、徳良池堤体改修工事等について



中沢川小水力発電の工事状況視察



徳良湖花畑造成状況視察

【商工観光課】

- 徳良湖周辺施設の整備状況、今後の整備方針等について(現地調査含む)
- 地域活性化起業人推進事業について

どうする！ どうなる？ 尾花沢

8人の議員は こう質^ただ^した



一般質問 1 日目

録画が見れます



一般質問 2 日目

○囲み数字が掲載

| | | | |
|-------|--|--------|--|
| 伊藤 浩 | <ul style="list-style-type: none"> ① 農業を取り巻く諸問題 ② 除雪サービス事業の強化と運用見直し ③ 鳥獣被害防止対策 | 塩原 未知子 | <ul style="list-style-type: none"> ① 公共交通路線やバス停の見直し ② 雪の心配がない家づくりの普及で「尾花沢版RE100」の促進を ③ スマート自治体の進捗 ④ 「食と農」プラス「観光」を核にした「オール尾花沢」地域ブランディング ⑤ 地区公民館の更なる強化と連携 |
| 鈴木由美子 | <ul style="list-style-type: none"> ① 循環型社会に向けた再利用促進と地域活性化 ② ゼロカーボンシティ宣言をどう実現 ③ 「書かない窓口」の導入 | 菅野 修一 | <ul style="list-style-type: none"> ① コンパクトシティモデル事業としての旧駅前再整備の検討を ② 本市の農業戦略 |
| 小関 英子 | <ul style="list-style-type: none"> ① 眼科検診の拡充 ② いのち支える健康対策 ③ 文化の伝承 ④ 手話言語コミュニケーション条例の制定 | 大類 好彦 | <ul style="list-style-type: none"> ① 市長選挙公約 必ずやる10の政策の進捗状況 |
| 鈴木 清 | <ul style="list-style-type: none"> ① コロナ第6波、休園・休校 2 日中友好協会の活動 | 安井 一義 | <ul style="list-style-type: none"> ① 除雪・排雪作業の県・国との連携 ② 危険空き家の対策の現状は |

特別寄稿

とうかいりん しょうた
東海林 翔太
(野黒沢出身・宮城県在住・29才)

大好き尾花沢[★] Vol.4

冬季オリンピックの裏方

今年2月に中国北京で冬季オリンピックが開催された。日本のメダル獲得数は18個と冬のオリンピック最多の獲得数だったことは、ご存知の方も多だろう。

メダル獲得は選手の努力が実った結果であるため、選手が特集されることが多い。

この記事をご覧いただいて、今回の結果の裏に選手をサポートしている人がいたこと、またその中に尾花沢出身者がいたことを知っていただければ幸いである。

私は宮城にあるスキー・スノーボード用ワックスメーカー「株式会社ガリウム」で開発を担当している。

ガリウムはよく滑るワックスの開発に力を入れており、国内はもちろん海外でもその高い滑走性能が評価されている。

このような背景から、北京オリンピックで日本人選手がメダル獲得できるようにサポートすることとなった。サポートの内容は、ノルディックコンバインドチームのスタッフとして北京オリンピック大会へ参加し、試合会場の雪に適したワックスを現地で作製・提供することだった。結果は、サポートもあって、ノルディックコンバインドチームは渡部暁斗選手の個人ラージヒル、団体の2種目で銅メダルを獲得した。

ふるさとのスキー教室に感謝

私が現在このような仕事をするきっかけは小学生から高校生まで続けたクロスカントリースキーにある。クロスカントリースキーは選手の努力はもちろん、スキー等道具の性能が試合の結果に直結する競技である。

このような競技の特徴に興味を持ち、スポーツ工学に関わる仕事に就きたいと感じるようになった。

高校までスキーを続けることができたのも、小学校体育でのスキー授業や市のスキー大会、スポーツ少年団の活動があったためと感じている。

尾花沢は積雪量が多く、除雪作業は大変な重労働であり、市民の方からすると「雪はない方がよい」と思われる方もいらっしゃるだろう。

それでも「雪とスイカと花笠のまち 尾花沢」というキャッチコピーを掲げ、市役所の冷房に雪を使用することや尾花沢雪まつり、花笠ラングライフ大会等、雪を活用した市民の皆様の取り組みは素晴らしく、尾花沢の魅力だと思っている。

とりとめのない内容になってしまったが、本稿をお読みになってスキーに興味を持っていただければと思う。



テストに3時間かかるワックス作業

報告

林業活性化 先進地視察(最上町)

令和4年1月24日に森林・林業・林産業活性化推進 尾花沢市議会議員連盟研修会を開催した。最上町の若者定住モデルタウン・木質焚き温水ボイラー施設・木質チップ製造施設の3施設を視察し、町特産の森林資源を活用した木質燃料について研修した。いずれも温水、暖房、ハウス加温など燃料としての原材料製造から発熱、活用まで木が活かされていた。



今がチャンス！「脱炭素先行地域」に名乗り上げては！

市長…職員の見学視察を計画している



鈴木由美子 議員

ゼロカーボンシティ宣言をどう実現するのか

問 市は昨年5月に宣言を行い、再生可能エネルギーの活用とエネルギーの地産地消に取り組むことを表明した。さらに国は自治体向け新年度予算として「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」200億円を計上した。本市は雪氷熱や水力発電など資源の活用の可能性は大きい。また肉牛生産に力を入れ頭数も増加傾向にあり、家畜排せつ物処理の課題もある。同じような環境の中、家畜排せつ物からバイオガス発電に取り組む飯豊町の先進事例もある。国の予算活用で、再生可能エネルギーを創出する

問

循環型社会に向けた再利用促進と地域活性化

環境基本計画改訂にあたりごみの削減と



水力発電

バイオマス発電

答 この制度の条件に合致するには、本市の現状や今後の見込みも含めた数値の精査を行う必要がある。

など「脱炭素」に積極的に取り組むべきでないか。

「書かない窓口」の導入

問 住民が「申請書を書かず住民票などの交付が受けられる」北見市役所の「書かない窓口」の導入は全国に広がりつつある。本市としても導入に向けた取り組みを開始すべきではないか。

答 既に「申請様式への記入が一度で済む」窓口のワンストップ化を行っている。多課に渡る届出や手続きについては、担当者から窓口に出向き対応している。課を越えた「一人に優しくあったかい対応」を心掛けていく。

宣言した後はどうするの？



つぶやき…

尾花沢の農家救済措置の訴えを!!

市長…関係機関と連携し強く要望していく



伊藤 浩 議員

問 1月臨時会に於いて可決された「令和3年度尾花沢産米生産支援緊急応援事業」の執行計画と見直しは。

答 2月18日に対象の皆さんに申請の続きを案内を行った。3月1日を締め切りとしているが、未提出者のフォローを行いながら3月下旬までに振込を完了させたい。

問 来年度、肥料を初めとする農業資材が高騰する情報が出されている。平成21年度にも資材が高騰した事を受けて「燃油・肥料高騰緊急対策事業」が行われているが、今回も同様の対策が必要になると考えている。市としてどんな対策が必要と考えるか。

答 世界的な流通問題が影響し、農業資材の高騰が予想されている。尾花沢市営農指導連絡協議会では、肥料コスト低減の生産体系への転換や、尾花沢市工コ農業推進協議会では、循環型農業の生産体制を推し進めているが、農家の努力だけでは困難な部分については、関係機関と連携し、国や県に対して農家の実情を踏まえた補填対策を要望していく。

問

豪雪により、春の農作業遅れが心配されている。融雪作業や除排雪作業に係る支援が必要と考えるがいかがか。

答 断続的な降雪の予報が出されている事を受けて、融雪作業に要する経費の支援を検討してきた。山形県でも融雪遅延に対する支援策を策定した事を受けて、市でも経費の上乗せを行って行く。農家の皆さんの営農継続に向けて少しでも経費の負担軽減ができるように支援をしていく。

除雪サービス事業の強化

問 高齢者世帯除雪サービスの高齢者委託先で、人材不足などにより、対応に困難な場合が発生している。地域ごとのグループ育成や個人の除雪協力者の育成強化が必要と考えるがいかがか。



地域交流型 除雪ボランティア(鶴子地区)

答 除雪の担い手不足解消に向けて、地域除雪活動グループや個人の除雪協力者の育成は重要な課題と考える。現在活動して頂いている個人やグループに加え、より多くの皆さんからこの事業に賛同して頂けるように区長会や公民館活動の中で周知を図ってきたい。

農地は尾花沢市の大切な財産。「荒廃農地は自治体の姿を現している」



つぶやき…

小児接種は家庭の判断を尊重して

市長…情報提供に努め、安心の体制を築く



すずき ぎよし 議員

問 コロナ第6波の休園・休校

答 オミクロン株の猛威で子どもが感染が拡大している。保育施設・小中学校の感染者数は何人でクラスターは発生していないか。

問 感染者数は、園児28名、保育士など7名、児童生徒13名、学校関係者3名である。2保育施設でクラスターが発生した。

答 12才から19才のワクチン接種はどの程度進んでいるか。県からの情報提供を受け、5才から11才の小児接種をどう行うか。厚労省のデータを基に、副反応事例やリスクも伝え、家庭の判断を尊重し

問 接種すべきでないか。

答 接種率は全国平均は75・1%、本市は85・3%と順調に進んでいる。小児科専門医師を配置し、ワクチンの安全性や有効性などの情報提供に努め、希望する方が安心して接種を受けられる体制を構築したい。

問 政府は園児の「可能な範囲でのマスク推奨」という方針を打ち出したが、保育施設での実施状況はどのようか。

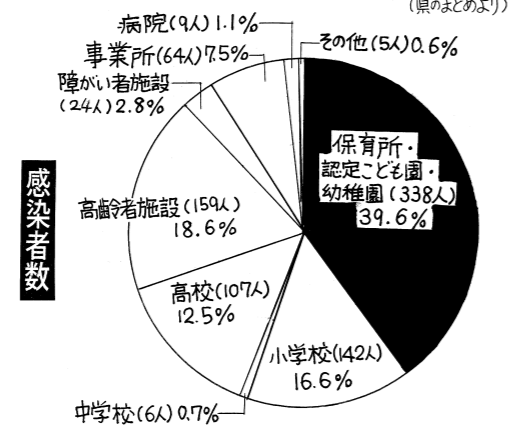
答 3才児以上に、雪遊び・給食・お昼寝・おやつ以外のマスク着用をお願いしている。マスクで表情が見えにくいなど、保育士の苦勞もあるが、安全な保育に勤めたい。

問 自宅療養している感染者で、食料・日用品に困っている方への提供体制はできているか。

答 感染者の状況は県で把握しており、市では誰が自宅療養しているかは把握できない。自宅療養者の意向に沿い、県が、希望する方へ、療養日数分に応じた食料と日用品を無料で提供しているようだ。

問 新型コロナウイルスの影響で、保育施設の休園や小学校の休校などで休まざるを得ない保護者に、賃金を保障する「小学校休業等対応助成

県内第6波におけるクラスター確認状況(2月17日現在) (県のまとめで)



問 金がある。手続きが簡略化されたが活用状況はどうか。

答 第5波以前は、休園・休校に至らず制度活用はなかった。第6波の感染拡大で該当する保護者が増加したため、制度の周知に努めたい。

第6波、なぜ小児感染が拡大か？小児接種は慎重対応を！



つぶやき…

手話言語コミュニケーション条例の制定を

市長…条例制定にこだわらず環境の整備を図っていく



こせき えいこ 議員

問 手話を言語とし、手話の普及と利用促進を目指す手話言語条例の制定に加え、情報保障やコミュニケーションの推進を指してはどうか。

答 「尾花沢市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を昨年度制定している。周知浸透させ手話を知る機会を設けていく。手話に限らず、音声、点字などの多様なコミュニケーションツール、ICTの活用など環境の整備を図っていく。

問 眼科専門医と連携し、視野検査を行う考えはあるか。

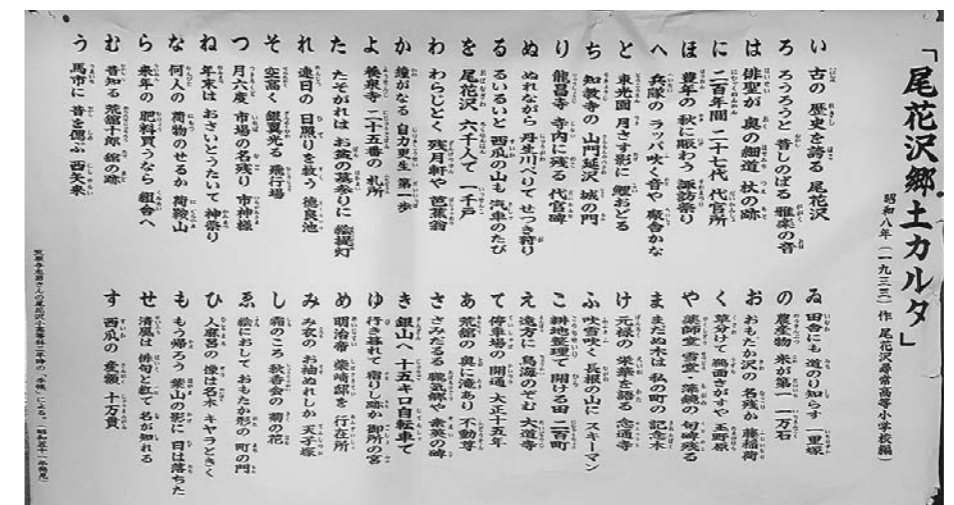
答 視野検査は緑内障の進行具合、治療判断などに活用される。健診への導入には専門医の理解が大切になる。

問 「こころの体温計」の導入の考えはあるか。

答 視野検査は緑内障の進行具合、治療判断などに活用される。健診への導入には専門医の理解が大切になる。

問 昭和8年時作「尾花沢郷土カルタ」を後世にどう伝えていくか。

答 当時の尾花沢尋常小学校高等科2年生の郷土研究の成果で、大変貴重な史料ととらえている。



大変な時は大きく変わる時



つぶやき…

パレットスクエアの地はまちづくりの拠点、再整備を図れ！

市長…「土地は市で活用したい」と伝え、優先的な譲渡を示した



菅野 修一 議員

問 市はパレットスクエアの地をどう捉え、都市計画マスタープラン(案)ではどう位置付けているのか。

答 現在、商業施設と市の子育て支援施設「ABESSA」などの官民が同居し、また交通機関の要として、まちづくりで重要な場所と考えている。都市計画ではコンパクトシティの実現に向け、「新たな土地利用の検討を進める」と位置付け、市民生活の利便性を確保する「都市機能誘導区域」として予定している。

問 都市機能の中心部として、子育て支援センターや「ABESSA」がこの場所にあることについて当局の考えはどうか。

答 町中に必要であり、ふさわしい所と考えている。

問 希望にあふれ、まちづくりの拠点となるこの地の再整備を企画するところが重要だ。ゆえに民間企業と連携して都市機能が十分に果たす拠点となる複合施設を目指してはどうか。

答 再整備は現時点で交渉中であり、示すことはできない。周辺に医院や保育施設などがあり、バスターミナルのような核となる都市機能を集め、周囲に居住を誘導する街づくりを考えている。人々が集い交流する拠点を官民一体で形成することは、まちの魅力向上に有効なので、企業からプロポーザルをいただき、連携してまちづくりを

進めていければと考えている。

提言 例えば、「ABESSA」や民間活力導入として高齢者集合住宅などの福祉関連施設及び、健康増進施設や観光物産と商業店舗などに至るまでの複合施設を目指し、新しい人々の流れができて、一層の賑わいを創出するまちの駅的コンパクトシティモデル構想を提案したい。

ブランド米雪さらり戦略

問 大幅な下落価格となつて、栽培農家経営は成り立たない。大胆なブランド化戦略が必要ではないか。

答 下落原因は、業務用米での取り引きが多

市議会は「敷地を購入し再整備計画を早急に示すこと」を提言したが…



つぶやき…

くなつたことであり主食用米流通になるよう関係団体と一層連携したい。雪さらり研究会では、新たな取り組みでフェイスブックでの情報発信を始め、有効なブランド化推進になるよう研究したい。

水はり5年ルール案

問 生産調整はじめ、多岐にわたつて大変な影響が必至である。撤回を求めたいが、市と農業委員会の所見は。

答 令和9年度以降の農家所得へ大きな影響を及ぼすことから、新型コロナ感染症回復後まで施行延期と要件緩和を要望した。

雪の心配がない住まいづくり「尾花沢版RE100」推進を

※1

市長…研究機関や民間と連携しV2Hモデルハウスを検討

※2



塩原未知子 議員

「尾花沢版RE100」の促進

問 除雪に多額の経費を費やす当市は、企業と家庭が「尾花沢らしいカーボンニュートラル」を要し、尾花沢市の雪対策とエネルギー戦略を合わせて、雪の心配がない住まいづくり、まちづくりを推進すべきではないか。

答 再エネ設備導入補助金を拡充し、V2H(ビークルトゥホーム)や耐雪型や無雪化住宅を民間事業者と連携し無雪化ゾーンの実現を検討していく。公共施設改修時には積極的に再エネ導入して、地球温暖化防止とゼロカーボンシティを目指していく。

公共交通路線やバス停見直し

問 バス停位置やニーズにあった時間帯の増便の希望がある。冬の待合場所を工夫してインフォメーションの拠点地として待っていて楽しいバス停にすべきではないか。

答 「おぼくも」も順調、4月から大石田線の最終便を増便する。乗車率の悪い路線、冬場のバス停や時間帯はニーズに合わせて見直ししていく。公共交通再編成計画に基づき尾花沢版デマンド型公共交通として更に検討していく。

スマート自治体

問 各課の所管移動で過去の資料を探しても無い事が多い。文書や資料の保管と公開はどうしているのか。

答 庁舎内文書や資料のデジタル化は費用面と分類が大変だが、貴重な資料は今後デジタル化していく。

食と農+観光の地域ブランディング

問 今、「食と農」プラス「観光」が一丸となつた販売促進が必要。「尾花沢牛」を核として「オール尾花沢」を核として「オール尾花沢」を核として、観光と農産品の連携した宣伝をして

改修にこそ手厚く、再エネ活用で雪があるから楽な尾花沢に！



つぶやき…

はどうか。GI認証の進捗は。尾花沢独自の認証制度創設は課題があり現時点では難しい。GI取得進捗は、尾花沢すいかは難しいが、尾花沢そば、尾花沢牛は継続して進めていく。

地区公民館強化と連携

問 防災やコミュニティ活動支援の拠点として、更に充実していく必要がある。各公民館活動を支援して各地区の活動を支援すべきではないか。

答 ソフト・ハード両面からの充実が必要で、防災面でも重要性が増している。早急に地域の方々と共に検討する必要がある。

※1 RE100 (アールイーひゃく) 使用電力を100%再エネで賄う事を目標とする、環境省の提唱) ※2 V2H(Vehicle to Home) 電気自動車にソーラーパネルから蓄電、電源を備えた住宅

国・県との除排雪の情報共有が必要ではないか

市長…北村山地域の会議で情報共有している



やすい かずよし 議員
安井 一義

除雪・排雪作業の 県・国との連携

問 除雪対策情報共有などの状況はどのようになっているのか。県道・国道の市内除雪の対策連携は図られているのか。排雪作業が連続して行われないと見受けられる場所があり、排雪作業が進んでいくと市民が感じられる対応が必要と考えるがどうか。

答 市民への情報提供については、「道路除雪計画書」を、毎年降雪前に全地区の区長へ配布し周知を図っている。

国・県との市内除雪に係る連携については北村山地域の除雪会議を毎年11月に開催している。国土交通省山形国道維持出張所、尾花

沢出張所、管内各警察署、県及び市町村担当者が参加し、除雪計画などについて情報共有を図っている。

排雪については県の日程を確認したうえで、気象状況や現場の積雪状況を踏まえ、路線の選択と日程を決めている。

県道と市道が連続するような場所については、順次作業をすべきだが、重機やダンプの確保に苦慮していることや、雪の堆積状況や場所の危険度を考慮し判断するためタイムラグが生じると考えており、ご理解を願っている。

問 市道と県道で排雪の期間が開いてしまうと市民は不安や危険を感じる場合もある。排雪時期の市民への情報提供が必要で

はないか。

答 排雪の予定日を回覧でお知らせするなど、の対応も検討する。

危険空き家の対策現状は

問 空き家対策計画が策定されているが、空き家の形態は一つとして同じものがない中での対策を行う必要がある。戸数の増加などどのようなようになっていくか。また策定時調査より5年が経過し、売買実績や取り壊しなどの実績はどのようか。

答 すべての空き家の所正管理を依頼する通知を送付している。地域住民からの相談、苦情などには、現地確認のうえ所有者に文書または直接訪問し情報提供



管理された空き家
にしたいな



つぶやき…

や助言を行い適正な管理を促している。

しかし、管理不全空き家も発生しているため空き家対策特別措置法などに基づく特定空き家認定および措置、管理人選任申し立て制度の活用などについても取り組み対策を強化していく。空き家の取り壊し実績は不良住宅除却促進事業により令和元年度2軒、令和2年度に5軒、令和3年度に8軒合計15軒。

選挙公約 必ずやる10の政策の進捗状況は

市長…10の政策の進捗についてお答えします



おおひら よしひこ 議員
大類 好彦



問 尾花沢小学校や保育園の一体的な学園都市構想の進捗状況は。

答 小学校については、令和9年度の開校をめざし新たな統合小学校を建設していく。

保育園は、検討委員会より本町地区は私立2園が望ましいと提言を受けている。

今後、市の方針を検討していく。さくら・ときわ・玉野は、当面の間存続するのが望ましいこととしている。

問 格安な宅地供給による若者定住や移住支援促進の進捗状況は。

答 荒楯分譲地10区画を販売し残り1区画となっている。分譲価格に20%の補助金を交付している。若者世代に安価に提供できたと考えている。

問 Uターン支援制度の導入など、ふるさと回帰の積極支援の進捗状況は。

答 進学などで本市から転出された方が戻っていただくための支援制度、「じもと就職応援スタートアップ激励金事業」を創設

し、2月末時点で1人20万円を6人に交付している。

問 流雪溝整備と間口除雪の拡充による積極的な除雪対策の進捗状況は。

答 流雪溝整備は、2月末で市全体の74・9%となっている。

間口除雪は、ひとり暮らし世帯や高齢者世帯に出来る限り間口に雪を残さないように配慮した除雪を行ってきた。

問 6次産業化や周年農業で売れる農畜産物の大幅な販路拡大の進捗状況は。

答 6次産業化は特産品開発協議会で商品開発を行い、焼き肉のタレ「尾花沢すいかタレ」と、すいかにペそら漬けを加え



たドレッシング「尾花沢すいかドレ」の、2商品を開発した。

農畜産物の販路拡大については、東京太田市場や大阪市場でのトップセールスに取り組んでいる。

選挙公約まだまだ
進んでいないな



つぶやき…